

ラグドスマートハンディターミナル DT-X400シリーズ

取扱説明書

- この取扱説明書は、本機の基本的なご使用方法および取り扱いについて説明してありますので使用前にひと通りお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。



登録商標・ライセンスについて

 **Bluetooth**® Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc., U.S.Aが所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。

GoogleTM、Googleロゴ、AndroidTM、AndroidロゴはGoogle LLCの商標または登録商標です。

SD、SDHC、SDXC、microSD、microSDHC、microSDXCはSD-3C, LLCの商標です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。ライセンスに関する詳細は「設定」⇒「システム」⇒「端末情報」⇒「法的情報」⇒「サードパーティライセンス」を参照してください。

目次

はじめに.....	3
警告ラベルについて	4
安全上のご注意.....	4
使用上のご注意.....	10
防水／防塵性能について.....	12
付属品とオプション品について	13
各部の名称.....	14
お買い上げ時 お使いになるまでの流れ.....	16
液晶保護シートの取り付け.....	17
充電電池パックの取り付け／交換.....	18
USB ACアダプタプラグの取り付け／取り外し.....	21
USBクレードル、LANクレードル用ACアダプタプラグの 取り付け／取り外し	22
充電のしかた.....	23
ハンドストラップ、スタイラスの取り付けかた	26
すべり止めフックの取り扱い.....	26
ハンドベルトの取り扱い.....	27
タッチパネルの位置補正.....	29
レーザースキャナの取り扱い(DT-X400-10)	30
レーザ発光幅調整法について	32
イメージャーの取り扱い (DT-X400-20/C21/WC21/C31/WC31).....	34
SIMカードの取り扱い(DT-X400-WC21/WC31)	35
microSDカードの取り扱い.....	38
NFCリーダーの取り扱い (DT-X400-C21/C31/WC21/WC31)	39
電源ON/OFFとスリープ	40
データ通信について	41
再起動、リセットのしかた.....	42
DT-X400の仕様一覧.....	43
USBクレードル(HA-S60IO).....	49
LANクレードル(HA-S62IO)	52
集合充電器(HA-S36DCHG)	55
デュアル充電器(HA-S32DCHG)	60
USB Type-Cケーブル(HA-S81USBC)	63
充電電池パック(HA-S20BAT).....	64

本製品の使用済後の取扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。

お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収申込方法は、カシオホームページでご案内しております。下記URLをご参照ください。

<https://s.casio.jp/f/10153ja/>

本製品は二次電池を使用しております。交換後のリサイクルにご協力ください。

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりました二次電池の回収・再資源化活動を行っております。弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収については、カシオホームページでご案内しております。下記URLをご参照ください。

<https://s.casio.jp/f/10146ja/>

適合規格について

- 本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。
- 本製品は、VCCI協会の技術基準(クラスB)に適合しています。適合マークは以下の適合マーク確認方法にて確認できます。
- 本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として「技術マーク」が端末内で確認できるようになっています。適合マークは以下の適合マーク確認方法にて確認できます。

・適合マーク確認方法

「設定」⇒「システム」⇒「端末情報」⇒「規格情報」の操作にて適合マークを確認できます。

はじめに

- 本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- 本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。

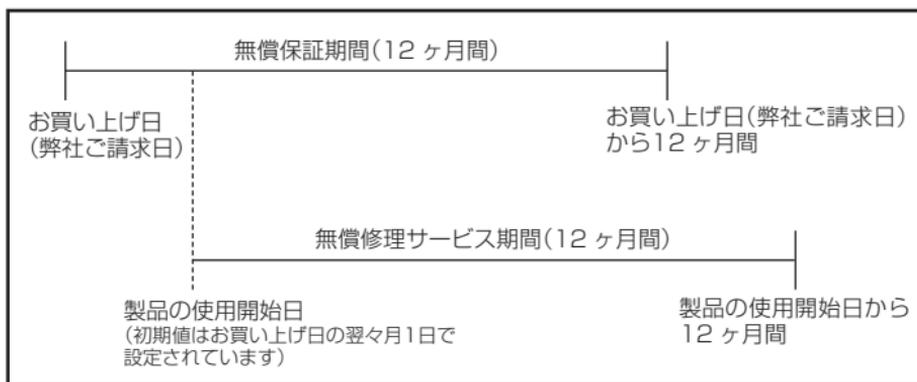
使用開始日登録による無償修理サービスについて

本製品には保証書は添付されませんが、弊社製品出荷日から12ヶ月間の無償保証期間がございます。この期間中に製品の使用開始日を連絡いただくことで、使用開始日を起算日として12ヶ月間の無償修理サービスを受けることができます。無償修理サービス内容などの詳細につきましては以下のURLよりご確認ください。

<https://casio.jp/support/ht/warranty/>



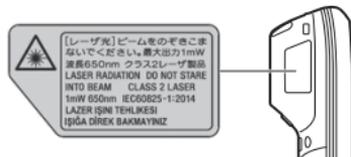
【無償保証期間と無償修理サービス期間】



無償修理サービス適用のため、製品のご使用開始日が決まりましたら、速やかにご購入窓口までご連絡をお願いいたします。

使用開始日のご連絡がない場合は、お買い上げ日(弊社ご請求日)の翌々月1日から12ヶ月間の無償修理サービス対応となりますので、予めご了承ください。

警告ラベルについて



- このラベルはJIS C 6802に準じた、クラス2レーザー製品の警告ラベルです。
- クラス2レーザー光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- レーザー光は最大出力1mW未満、波長650nmです。

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止



記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



プラグを抜く



記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

使用上のご注意

警告



分解禁止

■ 分解・改造しないでください

- 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。



■ 異常状態で使用しないでください

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電池を取り外してください。購入先またはカシオPAリペアセンターにご連絡ください。



禁止

■ 異物が入らないようにしてください

- 内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が本機の内部に入ったり、破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオPAリペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■ 水などがかからないようにしてください

- DT-X400は防水仕様ですが、オプションのクレードル等は防水仕様ではありませんので、水などがかからないようにしてください。また、DT-X400を濡れた状態で装着しないでください。水がかぶれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。



■ レーザ光をのぞき込まないでください

- 本機は、レーザー光を使用しています。レーザー光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。



禁止

■ 火中に投入しないでください

- 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

■ 設置場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。
- 油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。
- 振動の多い場所には置かないでください。
- -20～50℃の環境内でご使用ください。充電は0～40℃の環境内で行ってください。

■ 本機の上に重いものを置かないでください

- 重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 表示画面の取り扱いについて

- タッチパネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。タッチパネルや液晶パネルが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - ・ 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。



■ 引火性ガスが発生する場所では

- ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本機の電源をお切りください。ガスに引火するおそれがあります。

⚠ 警告



■ 通電中の本機を長時間肌に触れないようにしてください

- 使用中に本機の裏面で温度の高くなる部分があり、低温やけどの原因となることがあります。

■ 移動しながら撮影しないでください。

- 自動車などの運転中や歩行中に撮影したり、表示画面を見たりしないでください。転倒、交通事故の原因となります。

⚠ 注意



■ LEDライトやスキャナなど光を発する機能について

- LEDライトやスキャナなど光を発する機能を人(特に顔)に向けて至近距離で使用しないでください。視力の低下などの障害を起こす原因となることがあります。

無線通信機能の取り扱いについて

⚠ 警告



■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)

- 病院内や医療用電気機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。特に手術室、集中治療室、冠動脈疾患監視病室や特に医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。
電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能をOFFにするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器、電子機器の使用を禁止しております。航空機内では無線通信機能をOFFにしてください。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意



■ 他の電子機器への干渉について(無線機能を使用する場合)

- 本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
 - その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「修理に関する窓口」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

2.4 FH1

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2.4DS/OF4

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

リチウムイオン充電電池パックについて

危険



禁止

- 充電電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックは指定された機器以外で使わないでください。指定機器以外の用途に使うと、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に取り付けるときはプラス・マイナスを逆に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、充電電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックの(+)と(-)端子を針金などでショートさせないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを金属製のネックレスやヘアピン、コインなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。金属類が端子に触れてショートすると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。充電電池パックを持ち運ぶときや保管するときは、充電電池パックに付属のソフトケースを取り付けてください。
- 充電電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを電子レンジや高压容器に入れたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックに漏液・異臭・発熱・変色・変形・その他異常を見つけたときは、取り扱いに注意して機器や充電器から直ちに電池を取り出し、火気から遠ざけてください。その充電電池パックは使用しないでください。そのまま使用すると充電電池パックが発熱・発火・破裂する恐れがあります。
- 充電電池パックを直射日光の当たるところや炎天下の車内など高温のところで使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックを発熱、発火させる原因となります。また、充電電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 充電電池パックの充電は専用充電器を使用してください。他の充電器で充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、ただちに医師の診断を受けてください。
- 充電電池パックからもれた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。



警告



- 充電電池パックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、充電電池パックの異常の可能性があるので使用を中止してください。この異常な充電電池パックを充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。そのまま充電を続けると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを間違ったタイプに交換すると爆発の危険があります。

⚠ 注意



禁止

- 静電気の発生する場所で充電電池パックを使わないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 動物の近くに充電電池パックを置かないでください。充電電池パックを噛んだ場合、充電電池パックの液漏れや発熱・発火・破裂の原因となることがあります。
- ひどく膨れた充電電池パックは使用しないでください。



- 充電電池パックは小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。また、使用中は小さなお子さまが充電器や使用機器から取りはずさないようご注意ください。
- 使用済の充電電池パックは、取扱説明書に従って処分してください。

ACアダプタの使用について

⚠ 警告



禁止

- ACアダプタと本機の接続部は使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・表示された電源電圧以外では使用しない
 - ・タコ足配線はしない
 - ・傷つけない、破損させない
 - ・分解しない、改造しない
 - ・電源コードに重いものをのせない、加熱しない
 - ・電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない
 - ・電源コード、ACアダプタの清掃には洗剤は使用しない
 - ・コネクタ部分が曲がってしまったものは使用しない
 - ・接続部をこじらない
 - ・設置時にラックや壁などにはさみ込んだり、電源コードの上を敷物で覆ったりしない
 - ・電源コードを束ねたまま使用しない
 - ・ストーブなどの熱器具に近づけない
 - ・濡れた手で電源プラグに触れない
 - ・電源コードは、本機以外の電気機器で使用しない
- 必ず専用ACアダプタを使用する
- 電源コードは必ずACアダプタに付属または指定のものを使用する
- 液体や異物が入らないよう注意する
- 使用するときの電源は必ず指定された電源・電圧のコンセントを使用し、電源プラグは根元まで確実に差し込んでください
- 電源コードが傷んだまま(芯線の露出、断線など)使用すると火災、感電の原因となりますので、ただちに使用をやめて購入先またはカシオPAリペアセンターに修理をご依頼ください。
- ACアダプタや電源コードの上に花瓶など液体が入ったものを置かないでください。水がかかると火災・感電の原因となります。
- 不在時は動物が製品に近づかないようにして、ACアダプタをコンセントから抜いてください。動物が噛んだり、尿がかかるとショート(短絡)による火災の原因となります。



⚠ 注意



- ACアダプタと本機の接続部は使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
 - ・コネクタの向きを確認してまっすぐ差し込む(逆さまに入れない)
 - ・電源コードが簡単に届き電源プラグの抜き差しが容易な場所を選んでください
- 年1回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように乾いた布で清掃してください。清掃には、洗剤を使わないでください。



- ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。



- 感電に、注意してください。



プラグを抜く

- AC電源は使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のときはAC電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・清掃時
 - ・使用後
 - ・長期間ご使用にならないとき
 - ・移動させるとき(電源コードが引っ張られ傷つきます)

重要なデータは控えをとっておいてください

⚠ 注意



- 本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、変化したことによって生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

カシオ純正充電電池パックをご使用ください

⚠ 危険



- カシオ製機器にはカシオ純正の充電電池パックをご使用いただくことをお勧めしております。カシオ純正の充電電池パックは、お客様が安全に商品をご使用いただくために、カシオ計算機で安全性、品質を確認した商品です。
一部カシオ純正でない充電電池パックが流通しておりますが、このようなカシオ純正以外の充電電池パックが原因で発生した事故・故障につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。充電電池パックをお買い求めいただく際には、充分にご注意いただき、カシオ純正の充電電池パックをご購入ください。

集合充電器、デュアル充電器の連結の際のご注意

⚠ 注意



- コネクタカバーはマイナスドライバー等で取り外してください。
指等で外そうとすると、けがをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

- **電池が消耗した状態で使い続けしないでください。**
データが消えたり変化する場合があります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。
- **各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。**
範囲外で使用すると故障の原因となります。
- **次のような場所での使用は避けてください。**
本機の故障、破損の原因になります。
 - ・ 静電気が発生しやすいところ
 - ・ 極端に高温または低温のところ
 - ・ 湿度の高いところ
 - ・ 急激な温度変化が起こるところ
 - ・ ほこりの多いところ
- **タッチパネルやリセットスイッチは、必ず専用のスタイラスで操作してください。**
- **付属のスタイラス以外のペンで操作した場合、正しく動作しません。**
- **本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。**
本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。
- **充電電池パックについて**
充電電池パックには寿命があります。充電のしかたによっては、充電電池パックの劣化が進み、容量が低下してご利用できる時間が短くなります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい充電電池パックと交換してください。
充電電池パックを長持ちさせるために、正しい充電方法でお使いください。
 - ・ 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときはご使用前に必ず充電してください。充電の際は、充電状態LEDが緑色点灯(満充電)するまで充電してください。
 - ・ 頻繁に充電を繰り返すと寿命が短くなります。なるべく残量が少なくなってから充電してください。
 - ・ 指定の温度範囲で充電してください。指定の温度範囲は機器により異なります。取扱説明書(ダウンロード版)を参照してください。範囲外での充電は電池を劣化させる原因になります。
 - ・ 低温環境でのご使用は、充電電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、充電電池パックの寿命も短くなります。
 - ・ 充電電池パックが冷えている状態での充電は電池を劣化させる原因になります。低温環境での作業後は、充電電池パックを常温に戻して(1時間程度放置して)から充電してください。
 - ・ 長期間保存する場合は充電電池パックが満充電の状態では保存しないでください。長期間保存するときは、電池残量が30～50%の状態で、低温下で保存してください。電池の劣化が少なくなります。また、充電電池パックは使用していても少しずつ放電されます。この状態が長期間(数ヶ月以上)続くと過放電状態となり、品質や性能が劣化する可能性があります。
 - ・ 充電電池の劣化は、時間の経過でも進行します。特に、満充電状態での高温保存(使用)は、短期間での劣化を招くことがあります。
- **通信／給電端子を定期的に乾いた綿棒などで掃除してください。**
汚れていると接触不良の原因となります場合があります。
- **薬品類に注意してください。**
シンナー、ガソリン、灯油、各種溶剤、油脂、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類などが付着すると樹脂ケース、カバーなどに変色や破損を生ずることがありますので、ご注意ください。
- **通信／給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。**

- **DT-X400は防水性能を備えていますが、次の点に十分ご注意ください。**
 - ・水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
 - ・雨中で長時間使用しないでください。
 - ・充電機カバーやコネクタカバーを確実に閉めてご使用ください。
 - ・雨中で画面(タッチパネル)やキーを強く押さないでください。
- **使用中に本機の裏面が熱くなることがありますが、故障ではありません。**
- **ウェルドラインについて**

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の「ウェルドライン」と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障はありません。
- **液晶パネルについて**

以下の内容は液晶パネルの特性で、故障ではありません。

 - ・液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがあります。
 - ・液晶パネルを強く押すと跡が残ることがあります。本体の電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直すことで押し跡は見えなくなります。
 - ・同じ画面を長時間映し続けると、新しい画面に切り替えても前の画面の残像が残ることがあります。残像は時間が経つと消えます。
- **無線LANについて**

IEEE802.11a/nの5.2GHz/5.3GHz帯(W52/W53)は電波法により屋外での使用が禁じられています。ただし、登録局に接続する場合は除きます。
- **ハンドストラップ、スタイラスは付属のもの以外使用しないでください。**
- **落下強度について**

落下強度は、試験値であり、保証値ではありません。繰り返しの衝撃や過度の衝撃は、故障の原因となる場合がありますので、衝撃を与えないように、お取り扱いください。
- **有寿命部品について**

本製品には、有寿命部品(メモリ、液晶パネル等)が含まれています。有寿命部品の使用可能期間の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日約8時間のご使用で約5年です。上記の期間はあくまで目安であり、この期間内に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。なお、長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても部品交換(有料)が必要となります。
- **NFCについて**

本製品は、電波法に基づく誘導式読み書き通信設備の型式指定を受けた無線設備を内蔵しています。
- **Googleアカウントが設定されている端末の修理について**

修理に出される端末にGoogleアカウントが設定されている場合は、Googleアカウントの設定を削除してから修理に出してください。弊社では、修理時に端末を工場出荷状態にします。本機はGoogleのデバイスプロテクション機能を搭載しており、盗まれたり紛失したりした場合に、不正に使用できないようになっています。Googleアカウントが設定された端末を工場出荷状態にする場合、Googleアカウントの資格情報を入力する必要があります。このため、端末に設定されているGoogleアカウントの設定の削除はお客様が行っていただく必要があります。Googleアカウントの設定を削除する方法については、以下のサイトをご覧ください。
https://casio.jp/support/ht/android_repair/

-
- <システム管理者の方へ> OSを更新してシステムを最新の状態に保ってください。
 - ・ OSを更新することにより、セキュリティアップデートが適用されます。
 - ・ カシオ計算機は、定期的もしくは当社が必要と判断した場合にOSを更新し、提供します。
 - ・ 適宜OSを更新し、最新のOSでの運用を行ってください。
 - ・ OSの更新方法については、ソフトウェアマニュアルを参照してください。
 - ・ OSを更新する際は、バッテリーの残量が十分あることを確認してください。
 - その他のご注意
 - ・ 本製品は、すべての無線LAN対応の周辺機器の動作を保証するものではありません。
 - ・ 本製品は、すべてのBluetooth対応の周辺機器の動作を保証するものではありません。
 - ・ 本製品は、すべてのUSB周辺機器の動作を保証するものではありません。
 - ・ 本製品は、すべてのmicro SDカードの動作を保証するものではありません。

防水／防塵性能について

DT-X400シリーズは、防水／防塵性能を備えています。

■ 重要

本製品の防水／防塵性能は、当社試験方法によるものです。また、本性能は出荷時(お客様への到着時)のものであり、ご使用中のユーザー環境を含めて保証するものではありません。万が一、ご使用中に浸水が発生しても保証の対象とはしておりませんので、雨中でのご使用等に関しましては、他の電気製品同様に、十分ご注意ください。

● 使用上のご注意

- ・ 充電パックカバー、USBポートカバーと、その接触面に、ゴミ、砂などの異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は清潔で乾燥した柔らかい布で取り除いてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個等)がわずかでもはさまると浸水の原因になります。
- ・ 充電パックカバーおよびUSBポートカバーの防水パッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- ・ 充電パックカバーのロックスイッチは、ロックの位置までしっかり閉じてください。
- ・ 水辺や潮風のあたる場所での充電パックカバーおよびUSBポートカバーの開け閉め、および濡れた手での開け閉めは避けてください。
- ・ 本製品を落としたり、指定された温度範囲外に放置しないでください。防水性能が劣化します。

● その他のご注意

- ・ 本製品の付属品、オプション品(充電パックなど)は、防水／防塵性能はありません。
- ・ 本製品に極度な衝撃が加わると、防水／防塵性能を保てない場合があります。
- ・ 取り扱い上の不注意により、万一、水濡れ事故を起こした場合、内部機材(充電電池、記録メディアなど)の損害、記録内容、および記録に要した諸費用などの補償はご容赦願います。
- ・ カシオ計算機は、水濡れによって発生する事故につき、その他一切の責任を負いかねます。

付属品とオプション品について

DT-X400シリーズ (本体)



付属品一覧

本機をはじめてお使いになる前に、箱の中身を確認してください。

- ハンドストラップ
- スタイラス(スタイラス紛失防止ひもが取り付けられています)
- すべり止めフック
- 充電機パック
- 取扱説明書

オプション品一覧

- USBクレードル HA-S60IO
- LANクレードル HA-S62IO
- 集合充電器 HA-S36DCHG
- デュアル充電器 HA-S32DCHG
- 充電機パック HA-S20BAT
- 液晶保護シート HA-S90PS10
- ハンドベルト HA-S95HB
- ACアダプタ(5V4A) AD-S50400A
- ACアダプタ(12V5A) AD-S12500A
- ACコード AC-CORD3
- USB ACアダプタ(5V2A) AD-S50200A
- USB Type-Cケーブル HA-S81USBC

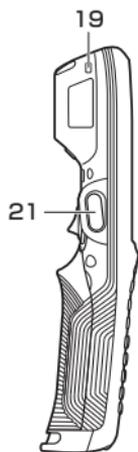
各部の名称

本体(DT-X400)

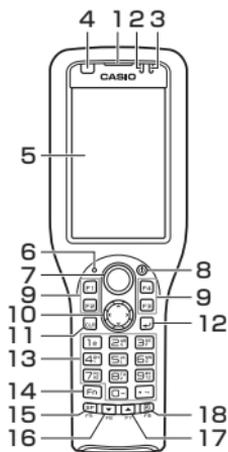
<天面>



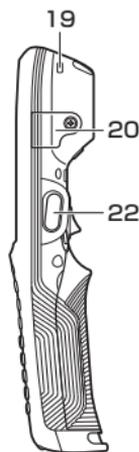
<左側図>



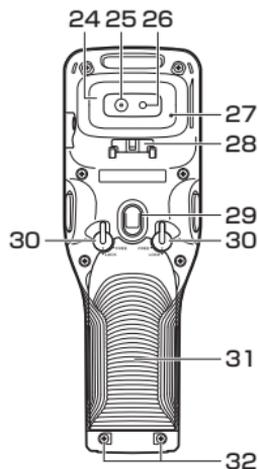
<正面>



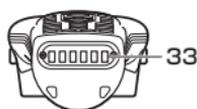
<右側図>



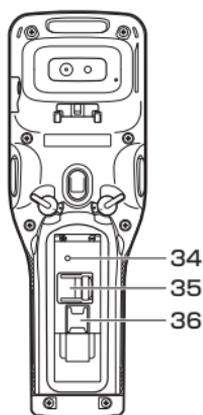
<背面>
(充電電池バックカバーを装着した状態)



<底面>



<背面>
(充電電池バックカバーをはずした状態)



イラストはDT-X400-WC21です

1	スピーカー	アラーム音など、各種音声が出力されます。
2	充電状態LED	充電状態を表わします。
3	通知LED	通知があることを知らせます。
4	照度/近接センサー	明るさ/物体の近さを測定します。
5	画面/タッチパネル	文字や操作の指示などが表示されます。また、付属のスタイラスを使って本機の操作やデータ入力を行います。
6	マイク	音声を入力します。
7	センタートリガーキー	バーコードを読み取る操作をするキーです。任意の機能を設定することも可能です。
8	電源キー	電源をON/OFFするキーです。
9	ファンクションキー	あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。
10	カーソルキー	パソコンの上下、左右カーソルキーと同等の動きをします。
11	CLRキー	入力したキーの内容をすべて取り消すときに押します。
12	決定キー	数値入力の完了あるいは次のステップへ実行を移すときに押します。
13	数値・ピリオドキー	数値や文字入力するときに押します。
14	Fnキー	置数キーと組み合わせて、各種の設定をするとき、また、あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。
15	SPキー	スペースを入力します。任意の機能を設定することも可能です。
16	ボリュームDownキー	音量を下げます。
17	ボリュームUpキー	音量を上げます。
18	文字キー	文字入力モードの切替を行うときに押します。
19	ストラップホール	ハンドストラップ、スタイラスを取り付けます。
20	USB Type-Cポート	別売りのUSB Type-Cケーブルを接続してUSB通信を行います。
21	左トリガーキー	バーコードを読み取る操作をするキーです。任意の機能を設定することも可能です。
22	右トリガーキー	バーコードを読み取る操作をするキーです。任意の機能を設定することも可能です。
23	バーコード読み取り部	この窓からレーザー光、LEDが照射され、バーコードを読み取ります。
24	NFC読み取り部	規定のカードをかざすと読み取ります。
25	カメラ	写真や動画を撮影するときに使います。
26	LEDライト	暗所で写真を撮影するときや周囲を照らすときに使います。
27	背面マイク	ノイズキャンセリングを行います。
28	ハンドベルト取り付け部	ハンドベルトを取り付けます。
29	背面トリガーキー	バーコードを読み取る操作をするキーです。任意の機能を設定することも可能です。

30	充電電池パックカバーロック スイッチ	電池カバーを開閉するときにスライドさせます。
31	充電電池パックカバー	この中に充電電池パックを装着します。
32	ストラップホール/ すべり止めフック/ ハンドベルトフック取り 付け部	ハンドストラップ、スタイラス、すべり止めフック、ハンドベルトフックを取り付けます。
33	給電/データ通信端子	クレードルなどに接続してUSB通信や給電に使用します。
34	リセットスイッチ	ハードリセットするときに押します。
35	microSDカードスロット	microSDカードを取り付けます。(充電電池パックを取り外して装着します)
36	nanoSIMカードスロット	nanoSIMカードを取り付けます。(充電電池パックを取り外して装着します)

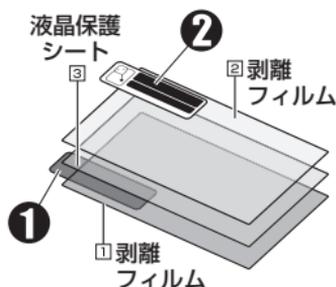
お買い上げ時 お使いになるまでの流れ

※手順3では、充電電池パックを必ず満充電になるまで充電してください。

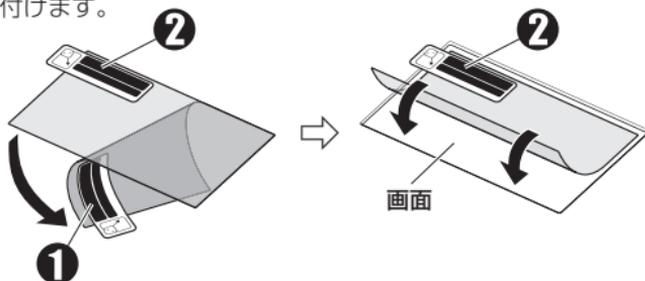
- 1 梱包箱の中に13ページ記載の付属品が入っていることを確認してください。
- 2 本体に付属の充電電池パックを取り付けます。(→19ページ)
- 3 充電電池パックを充電します。(→23ページ)
- 4 本体を電源ONします。(→40ページ)

液晶保護シートの取り付け

- 1 液晶画面の汚れをきれいに拭き取ります。
- 2 液晶保護シートは図のような3層構造になっています。

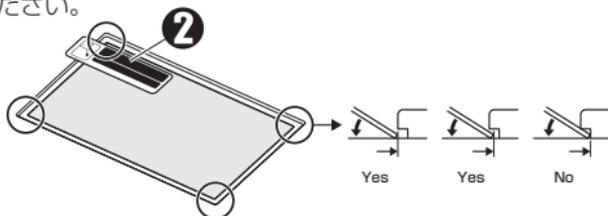


- 3 ①のシールを持って、剥離フィルム(①)を剥がし、本機に液晶保護シート(③)を貼り付けます。

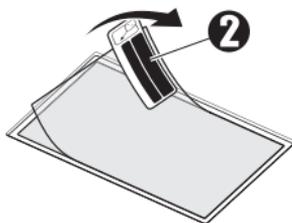


ポイント!

均等な位置に貼るには、液晶保護シートが液晶画面の周囲の縁の下になるようにしてください。



- 4 ②のシールを持って、剥離フィルム(②)を剥がします。



充電電池パックの取り付け／交換

本機では2種類の電池を使います。

本機の動作に使用するメイン電池とメモリ保護に使用するバックアップ電池があります。メイン電池には、充電電池パックを使います。使用できる充電電池パックはHA-S20BATです。バックアップ電池は、本体に内蔵されています。

本書では使用する電池を次のように記載しています。

メイン電池： 動作用の充電電池パックのこと

バックアップ電池： 本体に内蔵されたメモリ保護用の電池のこと

充電電池パック： メイン電池として使用する充電電池パック(HA-S20BAT)のこと

メイン電池が消耗したら、すみやかに充電を行うか充電済みの充電電池パックに交換してください。充電電池パックは、集合充電器、デュアル充電器、USBクレードル、LANクレードルを使用して充電できます。

充電方法は各機種の取り扱いのページを参照してください。

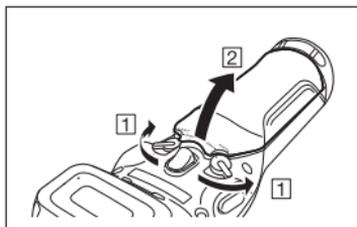
使用上のご注意

■ 重要なデータは控えをとっておいてください

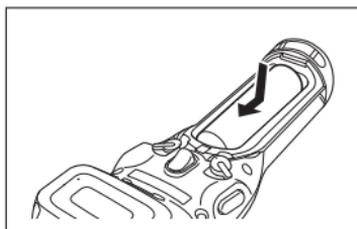
- メイン電池は動作用およびメモリ保護用の電源、バックアップ電池はメモリ保護用の電源となっていますので、バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずさないでください。バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずすと、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。
- 充電電池パックは自然放電により、電池残量が低下していることがあります。使用前に必ず充電をしてください。
- 充電電池パックは、充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったら充電電池パックを交換してください。
- バックアップ電池は、メイン電池がセットされた状態において4時間程で満充電の状態になります。

取り付け

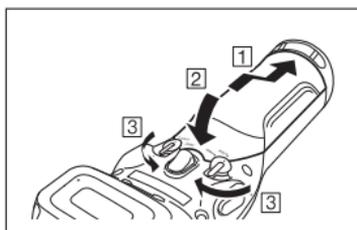
- 1 本体を裏返し、左右の充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ(①)、充電電池パックを取り外します(②)。



- 2 矢印の方向に充電電池パックを取り付けます。



- 3 図のように充電電池パックカバーを元に戻し(①②)、左右の充電電池パックカバーロックスイッチを「LOCK」の位置に戻してください(③)。

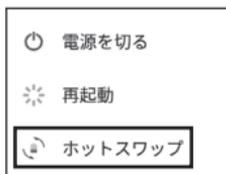


使用上のご注意

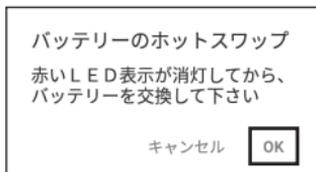
- ・ 指定された充電電池パック以外は使用しないでください。
- ・ 充電電池パックには寿命があります。充電のしかたによっては、充電電池パックの劣化が進み、容量が低下してご利用できる時間が短くなります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい充電電池パックと交換してください。

交換

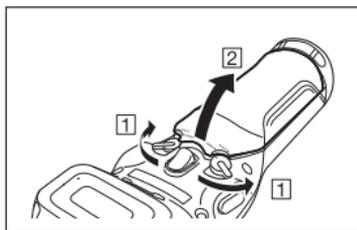
- 1 本機を画面が点いた状態にします。
- 2 電源オプションメニューが表示されるまで、電源キーを長押しします。
- 3 図の「ホットスワップ」をタップします。



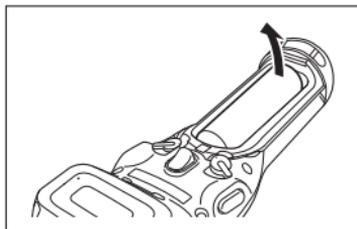
- 4 図の「OK」をタップすると、本機はホットスワップモードに移行します。移行中は通知LEDが赤色点灯し、移行が完了すると通知LEDは消灯します。



- 5 本体を裏返し、左右の充電電池パックカバーロックスイッチを「FREE」の位置に回転させ(①)、充電電池パックカバーを取り外します(②)。



- 6 矢印の方向に充電電池パックを取りはずします。



- 7 充電電池パックの取り付け2～3の手順に従い、交換する充電電池パックを取り付けます。

使用上のご注意

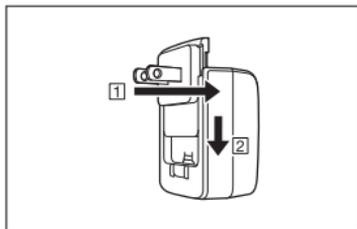
- ・ホットスワップモード中、充電電池パックを外しても最大4分間メモリ(RAM)のバックアップを行うことができ、作業状態を保持することができます。
メモリ(RAM)のバックアップ時間はバックアップ電池の充電状態によって短くなります。
- ・ホットスワップモード中は電源キーを押しても反応しません。
- ・ホットスワップモードを解除するには、充電電池バックカバーの開け、閉めが必要になります。
- ・ホットスワップモードに移行せずに充電電池パックを交換した場合、作業状態を保持することはできません。

USB ACアダプタプラグの取り付け／取り外し

USB ACアダプタは、使用する地域に対応したプラグを取り付ける必要があります。

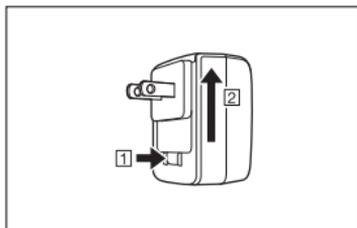
取り付け

- 1 ACアダプタの上部の窪みにACアダプタプラグの突起部を差し込み(①)、カチッと音が鳴るまで押し込んでください(②)。



取り外し

- 1 ACアダプタプラグの取り外しレバーを図の矢印の方向に押し込み(①)、ACアダプタプラグを矢印の方向に引き抜きます(②)。



使用上のご注意

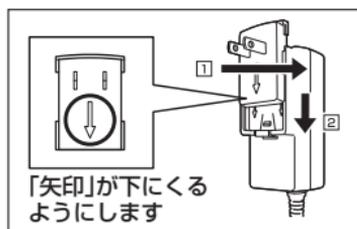
- ・プラグだけでコンセントに挿し込まないようにしてください。

USBクレードル、LANクレードル用 AC アダプタプラグの取り付け／取り外し

USBクレードル、LANクレードル用のACアダプタは、使用する地域に対応したプラグを取り付ける必要があります。

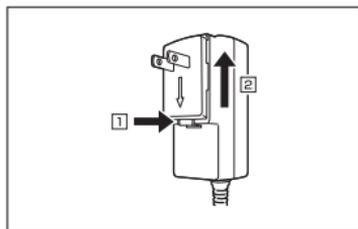
取り付け

- 1 ACアダプタの上部の窪みにACアダプタプラグの突起部を差し込み(①)、カチッと音が鳴るまで押込んでください(②)。



取り外し

- 1 ACアダプタプラグの取り外しレバーを図の矢印の方向に押し込み(①)、ACアダプタプラグを矢印の方向に引き抜きます(②)。



使用上のご注意

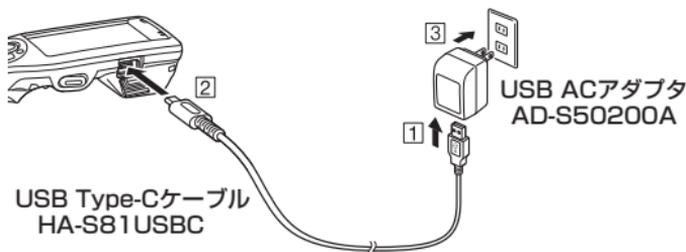
- ・ プラグだけでコンセントに挿し込まないようにしてください。

充電のしかた

オプションのUSB ACアダプタ、USBクレードル、LANクレードル、集合充電器を使ってDT-X400に装着した充電電池パックを充電することができます。充電状態はDT-X400の充電状態LEDで確認します。

USBクレードル、LANクレードル、デュアル充電器を使って充電電池パックを充電することができます。

USB ACアダプタ



DT-X400の充電状態LEDの表示

オレンジ色点灯：充電中

緑色点灯：充電完了

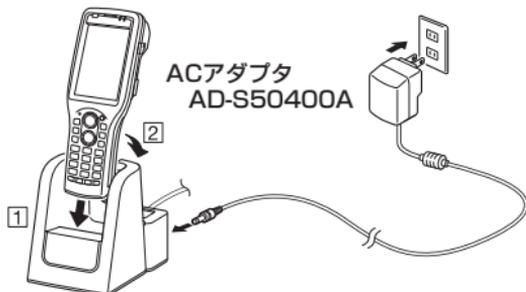
赤色点灯：充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中
(充電可能温度になると充電開始)

オレンジ色点滅：充電中(充電電池パックの残量が低下して本体を起動できないため、充電状態LEDがオレンジ色点灯になるまでお待ちください)

使用上のご注意

- ・カバーがUSB Type-CケーブルとUSB Type-Cポートの間に挟まれないようご注意ください。
- ・装着後、充電状態LEDが点灯することを確認してください。
- ・必ず指定のUSB ACアダプタ、USB Type-Cケーブルをご使用ください。
指定のUSB ACアダプタ、USB Type-Cケーブル以外では正常に動作しない場合があります。

USBクレードル、LANクレードル



①DT-X400に装着した充電電池パックの充電



DT-X400の充電状態LEDの表示

オレンジ色点灯：充電中

緑色点灯：充電完了

赤色点灯：充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中
(充電可能温度になると充電開始)

オレンジ色点滅：充電中(充電電池パックの残量が低下して本体を起動できないため、充電状態LEDがオレンジ色点灯になるまでお待ちください)

②充電電池パックの充電



- 充電電池パックをクレードルの溝に沿ってスライドさせ、充電電池パック給電端子に充電電池パックの端子を合わせます。

クレードルの充電状態表示用LEDの表示

赤色点灯：充電中

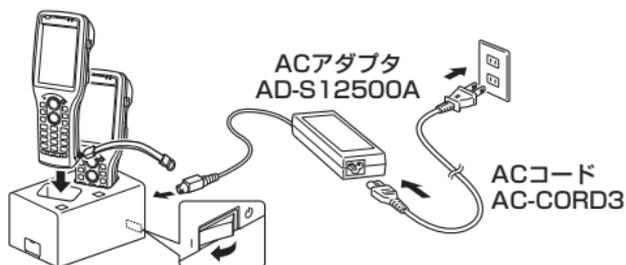
緑色点灯：充電完了

赤・緑色交互に点滅：充電電池パックの異常、充電電池パックが正しくセットされていない、充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

使用上のご注意

- 満充電状態の電池が装着されていてもクレードルにセットすると充電が開始されます。満充電表示になるまで数分掛かる場合があります。
- DT-X400をセットするときは、スタイラス紛失防止ひもやハンドストラップをクレードルの背面側に引き出して、中に入り込まないようにセットしてください。
- 給電/データ通信端子、充電電池パック給電端子を定期的に乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていたり埃が付着していると接続不良の原因となります場合があります。
- 必ず指定のUSB ACアダプタをご使用ください。指定のUSB ACアダプタ以外では正常に動作しない場合があります。

集合充電器



※あらたに集合充電器を購入いただくと3台まで連結することができます。

DT-X400の充電状態LEDの表示

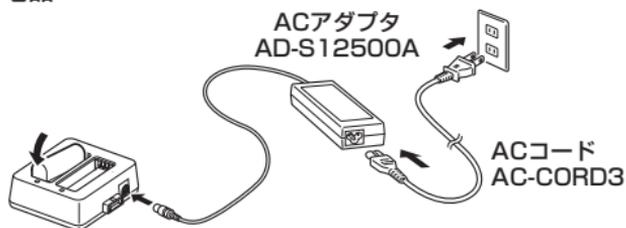
オレンジ色点灯：充電中

緑色点灯：充電完了

赤色点灯：充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中
(充電可能温度になると充電開始)

オレンジ色点滅：充電中(充電電池パックの残量が低下して本体を起動できないため、
充電状態LEDがオレンジ色点灯になるまでお待ちください)

デュアル充電器



※あらたにデュアル充電器を購入いただくと3台まで連結することができます。

デュアル充電器の充電状態LEDの表示

赤色点灯：充電中

緑色点灯：充電完了

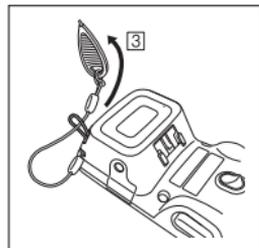
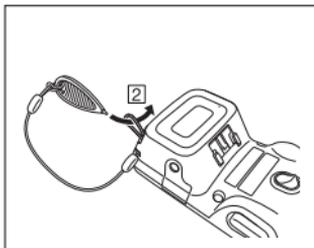
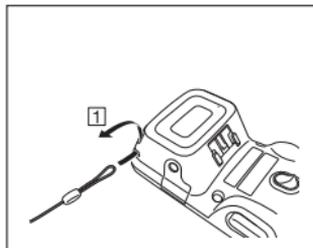
赤・緑色交互に点滅：充電電池パックの異常、充電電池パックが正しくセットされていない、充電可能温度でないため待機中
(充電可能温度になると充電開始)

使用上のご注意

- 満充電状態の電池が装着されていてもクレードルにセットすると充電が開始されます。満充電表示になるまで数分掛かる場合があります。
- DT-X400を集合充電器にセットするときは、スタイラス紛失防止ひもやハンドストラップを集合充電器の背面側に引き出して、中に入り込まないようにセットしてください。
- 給電/データ通信端子、充電電池パック給電端子を定期的に乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていたり埃が付着していると接続不良の原因となります場合があります。
- 必ず指定のACアダプタをご使用ください。

ハンドストラップ、スタイラスの取り付けかた

ハンドストラップ、スタイラスは次の手順でストラップホールに取り付けてください。ストラップホールは本体に4ヶ所あります(14～16ページを参照)。運用に合わせて使いやすい位置に取り付けてください。



イラストはスタイラスです。ハンドストラップについても同じように取り付けてください。

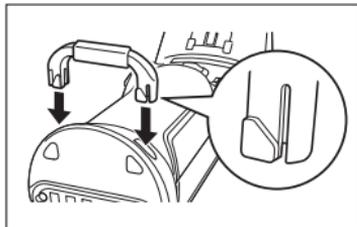
使用上のご注意

- ・ スタイラスをバーコード読み取り部側のストラップホールに取り付ける場合は、カメラの撮影時にスタイラスやスタイラス紛失防止ひもが写り込まないようにご注意ください。

すべり止めフックの取り扱い

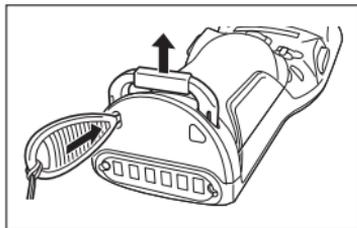
すべり止めフックの取り付けかた

- 1 図のようにすべり止めフックを突起が手前に来るように向きを確かめて、本体のストラップホール/すべり止めフック/ハンドベルトフック取り付け部に押し込みます。しっかり固定されたことを確認してください。



すべり止めフックの取り外しかた

- 1 図のように、スタイラスで押しながらすべり止めフックをすべり止めフック取り付け部から引き抜きます。



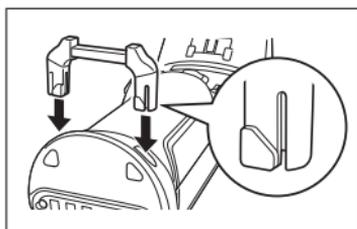
使用上のご注意

- ・ すべり止めフックとハンドストラップ(またはスタイラス)の両方を取り付ける場合は、ハンドストラップ(またはスタイラス)をバーコード読み取り部側のストラップホールに取り付けてください。
- ・ ハンドストラップおよびスタイラスをすべり止めフックに取り付けしないでください。使い方によってははずれる恐れがあります。

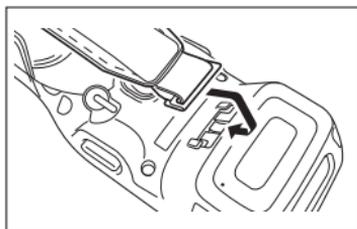
ハンドベルトの取り扱い

ハンドベルトの取り付けかた

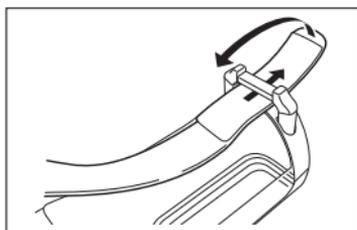
- 1 図のようにハンドベルトフックを突起が手前に来るように向きを確かめて、本体のストラップホール/すべり止めフック/ハンドベルトフック取り付け部に押し込みます。しっかり固定されたことを確認してください。



- 2 図のようにハンドベルトの金具を本体の取り付け位置に合わせて押し込みます。しっかり固定されたことを確認してください。



- 3 ハンドベルトの先端をハンドベルトフックの穴に通し、折り返して適切な長さになるよう面ファスナーで固定します。

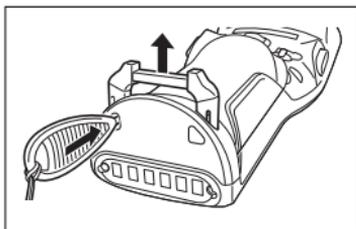
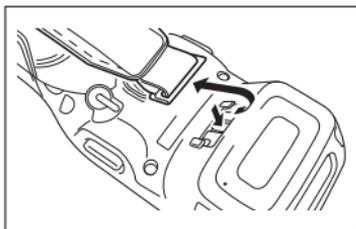


使用上のご注意

- すべり止めフックとハンドストラップ(またはスタイラス)の両方を取り付ける場合は、ハンドストラップ(またはスタイラス)をバーコード読み取り部側のストラップホールに取り付けてください。
- ハンドストラップおよびスタイラスをハンドベルトフックに取り付けしないでください。使い方によってははずれる恐れがあります。
- ハンドベルトを強く引っ張ったまま使い続けると、金具とベルトの摩擦によりベルトが切れる場合があります。
- 面ファスナーは適切な長さになるように調整してください。

ハンドベルトの取り外しかた

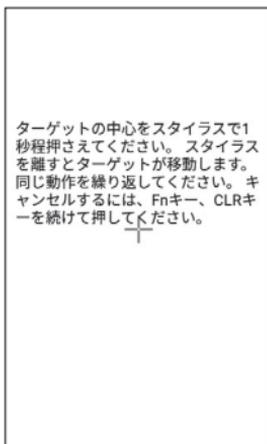
- 1 図のように、本体の突起部分を押しながらハンドベルトの金具を引き抜きます。
- 2 面ファスナーをはがして、ハンドベルトをハンドベルトフックの穴から引き抜きます。
- 3 図のように、スタイラスで押しながらハンドベルトフックをストラップホール/すべり止めフック/ハンドベルトフック取り付け部から引き抜きます。



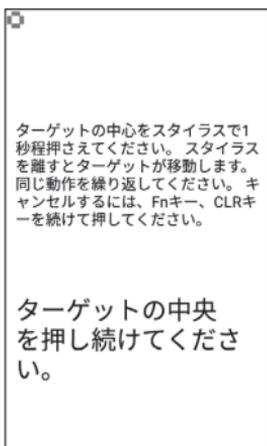
タッチパネルの位置補正

タッチパネルの反応が悪かったり、タッチパネル上でタッチした位置と、動作との間にずれがある場合は、以下の方法でタッチパネルの再補正をしてください。

- “Fn”キーを押して画面上部に“Fn”が表示されたことを確認してから“4”キーを押します。次の画面が表示されます。
※アプリケーション一覧画面から表示させることもできます。
「アプリケーション一覧」→「タッチパネルキャリブレーション」



- 画面の指示に従って、ターゲット(+マーク)の中心をペン(スタイラス)で押さえます。画面上のターゲットを5回押さえると、次の画面が表示されます。ターゲットの中心を2回押さえます。



レーザーキャナの取り扱い (DT-X400-10)

- 1 電源をONにして、読み取り部をバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。
- 2 レーザーが発光し、バーコードが読み取れます。
読み取りが正常に完了すると通知LEDが緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。

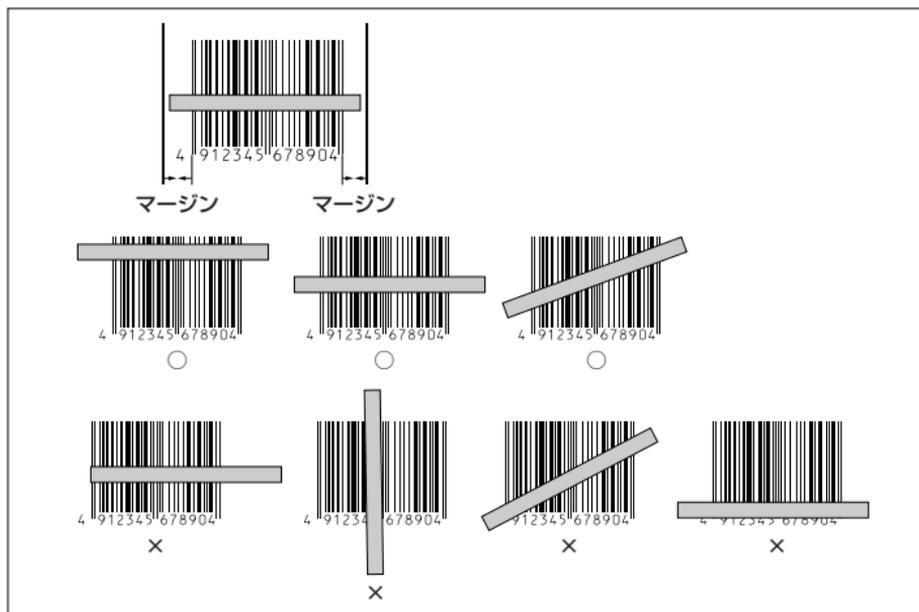


使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は43mm～890mmの距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類や分解能によって読み取り可能な距離が異なります。
- 指紋、ほこり、汚れ、しみなどが読み取り部に付着すると、読み取り異常の原因となることがあります。汚れた場合は乾いた柔らかい布などで十分に拭き取ってください。

バーコードをスキャンする位置

小さいバーコードは、レーザースキャナを近づけてお使いください。
大きいバーコードは、光にバーが入るように離してお使いください。



■ レーザ光をのぞき込まないでください。



- ・ 本機は、レーザ光でスキャンします。
レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

レーザー発光幅調整法について

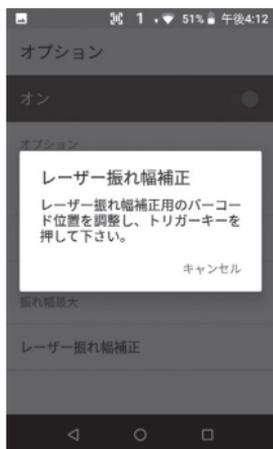
本機はレーザーの発光幅を切り替えることができます。レーザーの発光幅にずれがある場合は、次の方法で調整してください。

調整の前に、33ページの発光幅調整用バーコードをA4サイズに拡大印刷してください。

- 1 アプリ一覧画面から「ツール」→「スキャン設定」をタップします。
「スキャン設定」が表示されます。



- 2 「オプション」をタップし、「レーザー振れ幅補正」をタップします。



- 3 トリガーキーを押してレーザーを発光させ、印刷した発光幅調整用バーコードに光を合わせます。
- レーザー光を両サイドにある細いバーに合わせてください。
 - 調整が完了すると右のように表示されます。「キャンセル」を押して終了してください。
 - 「レーザー振れ幅補正失敗」と表示されたときは、設定をやり直してください。

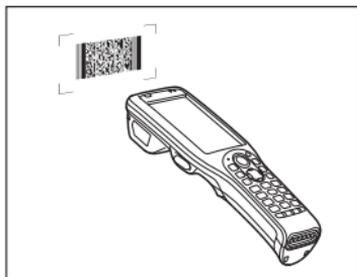


■発光幅調整用バーコード



イメージャーの取り扱い (DT-X400-20/C21/WC21/C31/WC31)

- 1 電源をONにして、読み取り部をバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。
- 2 LEDが発光し、バーコードが読み取れます。読み取りが正常に完了すると通知LEDが緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。



使用上のご注意

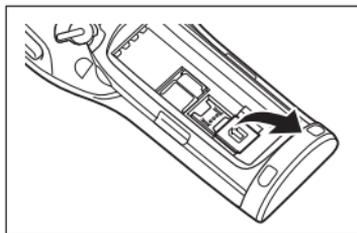
- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は33mm～630mmの距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類や分解能によって読み取り可能な距離が異なります。
- 指紋、ほこり、汚れ、しみなどが読み取り部に付着すると、読み取り異常の原因となることがあります。汚れた場合は乾いた柔らかい布などで十分に拭き取ってください。

SIMカードの取り扱い (DT-X400-WC21/WC31)

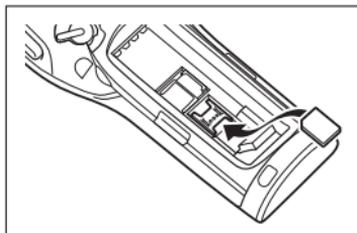
本機はnanoSIMカードに対応しています。
WAN機能を使用する場合にSIMカードの装着が必要になります。
SIMカードスロットは充電電池パック格納部にありますので、充電電池パックを取り外してからSIMカードの取り付け、取り外しを行ってください。

取り付け

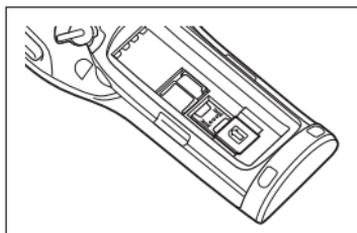
- 1 本機を電源OFF(シャットダウン)します。
- 2 充電電池パックを取り外します。
(20ページ 充電電池パックの交換 5, 6の手順)
- 3 SIMカードカバーをめくります。



- 4 図のようにSIMカードをカードスロット挿入口へ挿入します。



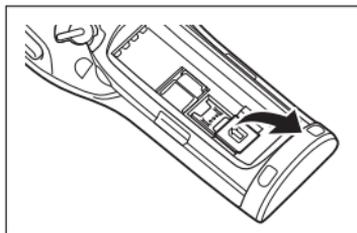
- 5 SIMカードカバーを閉じます。



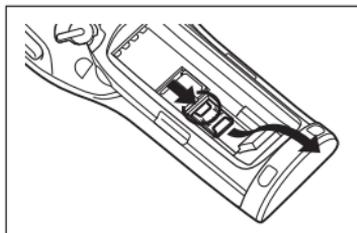
- 6 充電電池パックを取り付けます。
(19ページ 充電電池パックの取り付け 2, 3の手順)

取り外し

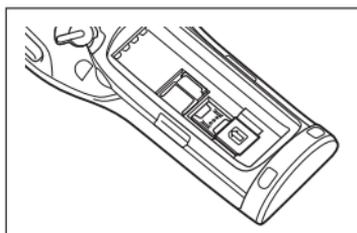
- 1 本機を電源OFF(シャットダウン)します。
- 2 充電電池パックを取り外します。
(20ページ 充電電池パックの交換 5, 6の手順)
- 3 SIMカードカバーをめくります。



- 4 図のようにSIMカードをカードスロットから引き抜きます。



- 5 SIMカードカバーを閉じます。



- 6 充電電池パックを取り付けます。
(19ページ 充電電池パックの取り付け 2, 3の手順)

使用上のご注意

- SIMカードを装着する際は、正しい挿入方向をご確認の上正しく装着してください。無理に取り付けようとしたり、無理に取り外そうとすると、カードが壊れることがありますのでご注意ください。
- カードを取り付けるときにIC部分に触れると、汚れたり静電気などで破損の原因となる場合があります。
- 電源オフする際は、ホットスワップではなく、必ず「シャットダウン」を選択してください。

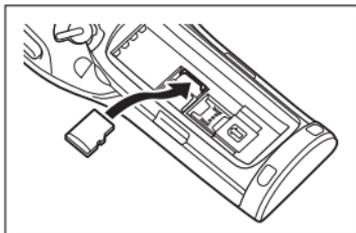
microSD カードの取り扱い

本機はmicroSDカードに対応しています。

microSDカードスロットは充電電池パック格納部にありますので、充電電池パックを取り外してからmicroSDカードの取り付け、取り外しを行ってください。

取り付け

- 1 本機を電源OFF(シャットダウン)します。(必ずシャットダウンしてください)
- 2 充電電池パックを取り外します。
(20ページ 充電電池パックの交換 5, 6の手順)
- 3 図のようにmicroSDカードをカードスロット挿入口へ奥に当たるまで差し込みます。
- 4 充電電池パックを取り付けます。
(19ページ 充電電池パックの取り付け 2, 3の手順)

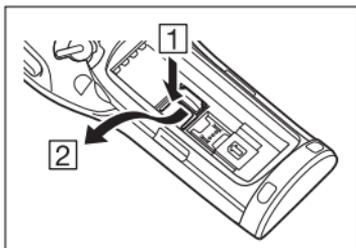


使用上のご注意

- ・ カードには表と裏があり、スロットへ挿入する方向も決まっています。間違った向きに挿入すると、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。挿入する際は、ご注意ください。
- ・ 電源オフする際は、ホットスワップではなく、必ず「シャットダウン」を選択してください。

取り外し

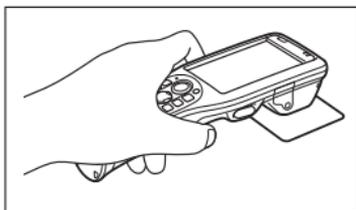
- 1 本機を電源OFF(シャットダウン)します。
- 2 充電電池パックを取り外します。
(20ページ 充電電池パックの交換 5, 6の手順)
- 3 図のように、止め具(①)を指で押さえて、microSDカードをカードスロットから引き抜きます(②)。
- 4 充電電池パックを取り付けます。
(19ページ 充電電池パックの取り付け 2, 3の手順)



NFCリーダーの取り扱い (DT-X400-C21/C31/WC21/WC31)

NFCとは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の1つです。社員証など対応する非接触ICカードを読み取ることができます。

- 1 本機の背面にあるNFC読み取り部(バーコードスキャナ付近)にカードを平行になるようにかざします。



使用上のご注意

- 複数のカードを重ねて読ませないでください。正確に読み取らない場合があります。
- NFC読み取り部の周辺に金属があると読み取りにくくなります。お財布などにカードを入れている場合は、取り出して読ませてください。
- カードはNFC読み取り部と水平になるように接触して読ませてください。
- 本機のNFCリーダー機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー/ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

電源 ON/OFF とスリープ

電源ON

- 1 本機が振動するまで電源キーを長押しします。
 - ・起動画面が表示されます。

使用上のご注意

- ・お買い上げ時、はじめて電源ONするときは、充電電池パックを満充電にしてからご使用ください。
- ・電源ONしても正しく起動しないときは、充電電池パックの残量が低下している可能性があります。充電電池パックを満充電にした後、再度電源ONしてください。

電源OFF(シャットダウン)

- 1 画面が点いた状態で、電源オプションメニューが表示されるまで、電源キーを長押しします。
- 2 「電源を切る」をタップします。

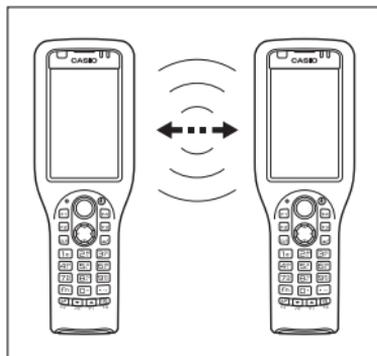
スリープ(サスペンド)

- 1 画面が点いた状態で電源キーを押します。
 - ・スリープ状態では、画面は消えていますが本体は動作しています。
 - ・作業状態は保持します。電源キーを押すことですぐ使えるようになります。

データ通信について

Bluetooth[®]通信

Bluetooth[®]通信は本体間の通信などでお使いになれます。
相手の機器と5m以内の距離(障害物のない状態)で通信することができます。



使用上のご注意

良好な通信を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth[®]機器とは、見通し距離約5m以内で通信してください。周囲の環境(障害物)によっては通信可能距離は短くなります。
- 他の機器(電気製品/AV機器/OA機器/デジタルコードレス電話機/ファックスなど)から2m以上離れて通信してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に通信できなかったり、ラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、通信場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について
Bluetooth[®]通信とワイヤレスLANは同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の周辺で本機を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ワイヤレスLANを搭載した機器からは、10m以上離れて使用してください。
 - 10m以内で使用する場合は、本機またはワイヤレスLANを搭載した機器の一方の電源を切ってください。
- 本機のワイヤレスLANとBluetooth[®]通信を同時に使用する場合、周囲の電波環境により通信できない場合があります。

再起動、リセットのしかた

誤操作や強い衝撃が加わったなどにより、本機が正常に動作しなくなった場合は以下の順番で回復をお試し下さい。

1. 再起動
2. 強制再起動
3. リセット

再起動

- 1 画面が点いた状態で、電源オプションメニューが表示されるまで、電源キーを長押しします。
- 2 「再起動」をタップします。

強制再起動

- 1 本機が振動するまで電源キーを長押しします(約12秒)。

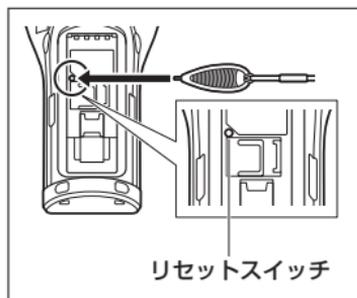
リセット

- 1 充電電池パックカバーを開け、充電電池パックを取り外します。
- 2 リセットスイッチを押下します。(約2秒)

ポイント!

リセットスイッチの押下には本機付属のスタイラスをご使用ください。

- 3 充電電池パックを元に戻し、充電電池パックカバーを閉めます。
- 4 本機を電源ONします。



DT-X400 の仕様一覧

	10	20	C21 C31	WC21 WC31	備考
CPU	Qualcomm 1.3GHz Quad Core				
OS	Android 8.1				
メモリ	RAM : 2GB FROM : 16GB				
表示	3.2型透過型カラー TFT液晶(800×480ドット)				
スキャナ *1	1Dスキャナ (レーザー)	2Dスキャナ (イメージャー)			
カメラ	-		800万画素 オートフォーカス		
マイク	音声入力				
スピーカー	各種音声出力及び通話用				
WLAN *2	IEEE 802.11a/b/g/n				
Bluetooth *3	Specification Ver.5.0				
WAN *4	-		LTE/ W-CDMA/ GSM		
GPS *5	-		GPS, GLONASS, BeiDou		
NFC *6	-		対応カード： ISO1443 TypeA, ISO1443 TypeB, ISO15693, FeliCa		
microSD	microSDカードスロット×1				
USB	USB 2.0 OTG				
SIM	-		nanoSIM カード		
電源(メイン電源用)	リチウムイオン充電電池				
電源(バックアップ電源用)	リチウムイオン充電電池				交換不可
電池寿命 *7	30時間				常温、新品電池の場合
動作温度	-20℃～50℃ *8				
動作湿度	30%～80%RH				
落下強度	3.0m *9				

	10	20	C21 C31	WC21 WC31	備考
防水防塵性能	IP67準拠				
大きさ	約46mm×197mm×32mm				
質量	約260g				
バイブレーター 機能	スキャン読み込み通知				
センサー	近接センサー／照度センサー／加速度センサー				
時刻表示	最大月差：2分10秒（主電池動作時） 最大月差：8分38秒（副電池動作時）				

*1
 スキャナ仕様

項目	仕様	
1Dスキャナ (レーザー)	間口	ベント角度：25
	波長	645nm～664nm
	光出力	1.6mW以下
	走査回数	100±20 scan/sec
	最小分解能	0.127mm
	読み取りPCS	0.45以上
	読み取り深度	43～890mm
	読み取り幅	最大670mm(深度890mm)
	外乱光	太陽光 50,000Lux以下
読み取り可能 コード	UPC-A/UPC-E/EAN8(JAN8)/EAN13(JAN13)/ Codabar(NW-7)/Code39/Interleaved2of5(ITF)/ MSI/Code93/Code128/GS1-128(EAN128)/ GS1 DataBar Omnidirectional(RSS-14)/ GS1 DataBar Limited(RSS Limited)/GS1 DataBar Expanded(RSS Expanded)/GS1 DataBar Stacked (RSS-14 Stacked)/GS1 DataBar Expanded Stacked (RSS Expanded Stacked)/GS1 DataBar Truncated	
2Dスキャナ (イメージャー)	方式	CMOSイメージャー、1280×800、モノクロ
	エイマー方式	レーザー 650nm 1mW未満
	間口	ベント角度：DT-X400-20/C21/WC21：25度 ：DT-X400-C31/WC31：60度
	最小分解能	1D：0.127mm 2D Stacked：0.169mm 2D Matrix：0.191mm
	読み取りPCS	0.45以上
	読み取り深度	1D：33～420mm(分解能0.25mm) 1D：37～630mm(分解能0.50mm) 2D Stacked：98～220mm(分解能0.170mm) 2D Matrix：32～360mm(分解能0.38mm)
	読み取り幅	最大32mm(深度33mm) 最大477mm(深度630mm)
	焦点距離	9.0 inch
	外乱光	太陽光 50,000Lux以下

項目		仕様
	読み取り可能 コード (1D)	UPC-A/UPC-E/EAN8(JAN8)/EAN13(JAN13)/ Codabar(NW-7)/Code39/Interleaved2of5(ITF)/MSI/ ISBT/Code93/Code128/GS1-128(EAN128)/ GS1 DataBar Omnidirectional(RSS-14)/ GS1 DataBar Limited(RSS Limited)/ GS1 DataBar Expanded(RSS Expanded)/Code32/ GS1 DataBar Truncated
	読み取り可能 コード (2D Stacked)	PDF417/Micro PDF/Composite/Codablock F/ GS1 DataBar Stacked Omnidirectional(RSS-14 Stacked)/GS1 DataBar Expanded Stacked(RSS Expanded Stacked)/GS1 DataBar Stacked(RSS-14 Stacked)/GS1 DataBar Truncated
	読み取り可能 コード (2D Matrix)	Aztec/DataMatrix/Maxicode/QR Code/Micro QR/ HanXin Code

*2
WLAN仕様

項目		仕様	備考
WLAN 802.11a/b/g/n	無線周波数	2412 MHz - 2472 MHz(1 ~ 13ch) 5180 MHz - 5320 MHz(36 ~ 64ch) 5500 MHz - 5700 MHz(100 ~ 140ch) 5745 MHz - 5825 MHz(149 ~ 165ch) (802.11d規格により各国/地域毎に許可され た周波数のみ使用可能)	
	データ転送	802.11a/g : 54Mbps(最大) 802.11b : 11Mbps(最大) 802.11n HT20(2.4&5GHz) : 72Mbps (最大)	
	通信距離	802.11b/g/n : 屋内50m、屋外150 m (nは2.4GHz帯) 802.11a/n : 屋内30m、屋外150 m (nは5GHz帯)	使用環境や 伝送速度に より変化し ます

*3
Bluetooth仕様

項目		仕様	備考
Bluetooth通信	無線周波数	2402 MHz ~ 2480 MHz	
	通信距離	約5m	電波の状態 や環境によ り変化しま す

*4
WAN

項目		仕様
LTE	通信機能	音声、パケットデータ
	データ転送	Downlink : 150Mbps(最大) Uplink : 50Mbps(最大)
	対応バンド	FDD 1(1920-1980MHz/2110-2170MHz) FDD 3(1710-1785MHz/1805-1880MHz) FDD 7(2500-2570MHz/2620-2690MHz) FDD 8(880-915MHz/925-960MHz) FDD 19(830-845MHz/875-890MHz) FDD 20(832-862MHz/791-821MHz) FDD 26(814-849MHz/859-894MHz) TDD 38(2570-2620MHz/2570-2620MHz) TDD 41(2545-2655MHz/2545-2655MHz)
W-CDMA	通信機能	音声、パケットデータ
	データ転送	Downlink : 42Mbps(最大) Uplink : 11Mbps(最大)
	対応バンド	BAND 1(1920-1980MHz/2110-2170MHz) BAND 6(830 - 840MHz/875 - 885MHz) BAND 8(880-915MHz/925-960MHz)
GSM	通信機能	音声、パケットデータ
	通信方式	GSM/GPRS/EDGE
	対応バンド	EGSM900(880-915 MHz/925-960 MHz) DCS1800(1710-1785 MHz/1805-1880 MHz)

*5
GPS

項目		仕様
GPS	測位方式	Simultaneous-GNSS(WANとGNSS同時使用) Standalone-GNSS(WAN使用しない) A-GPS
	プロトコル	NMEA
	感度	捕捉(獲得)感度 : -145dBm トラッキング感度 : -159dBm

*6
NFC

項目		仕様	備考
NFC	読取り距離	ISO14443 Type A/B, FeliCa : 0mm(ケースに接触)	カードやタグ設計により読取り距離は異なります。
		ISO15693 : 0mm(ケースに接触)～最大50mm	

*7
JEITA動作モードGに従う。
LCDバックライト輝度最低、WLAN電波環境安定状態、ブザー最小、パイプレーターOFF。
WLAN以外の無線はOFF、スキャン後パワーセーブ設定1秒(2Dスキャナのみ)

*8

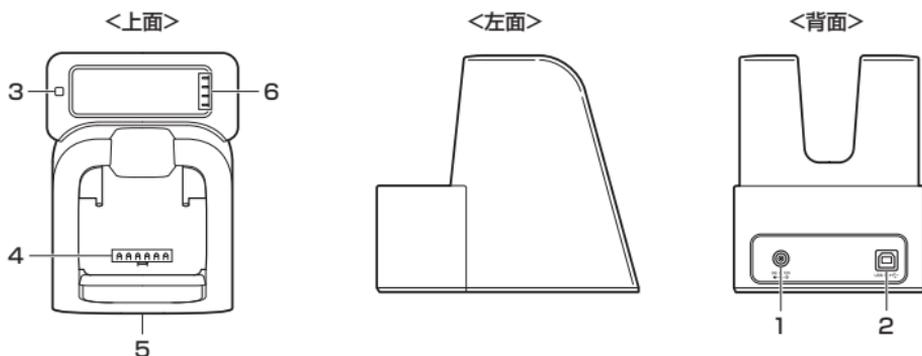
- カメラフラッシュ：-20℃～-11℃では動作無効になります。
- 充電動作温度範囲：0～40℃
充電電池パック内部温度が0℃以下、40℃以上の場合は充電を停止します。

*9
試験値であり、保証値ではありません。

USB クレードル (HA-S6010)

USBクレードルは、DT-X400とパソコン、USB機器などを接続することができます。また、DT-X400への電源供給や充電電池パックの充電をすることができます。

各部の名称とはたらき

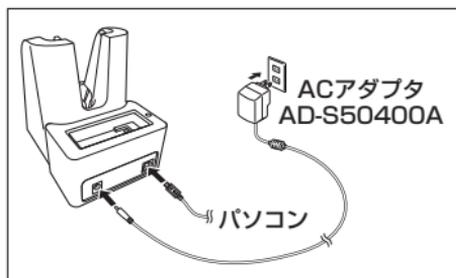


1	ACアダプタジャック	ACアダプタを接続して電源を供給します。
2	USBクライアント用ポート	パソコンとの通信に使用します。
3	充電電池パック 充電状態LED	充電状態を表示します。 赤色点灯：充電中 緑色点灯：充電完了 赤・緑色交互に点滅：充電電池パックの異常または充電可能温度範囲外
4	給電／データ通信端子	DT-X400へ電源を供給およびデータ通信を行う端子です。
5	電源表示用LED	電源の状態、DT-X400の装着状態を表示します。 赤色点灯：電源オン、DT-X400は装着されていません。 緑色点灯：DT-X400が正常に装着されています。
6	充電電池パック給電端子	充電電池パックを充電する端子です。

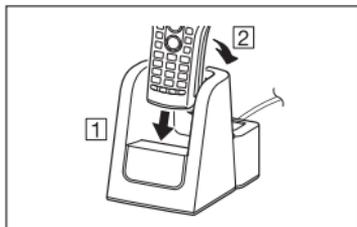
電源の取り付けかたと接続

USBクレードルの電源は、別売りのACアダプタ(AD-S50400A)を使用してください。

- 1 USBクレードルの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。
- 2 ACアダプタをコンセントに接続します。
- 3 パソコンと接続するときは、USBケーブルをUSBクライアント用ポートに接続します。

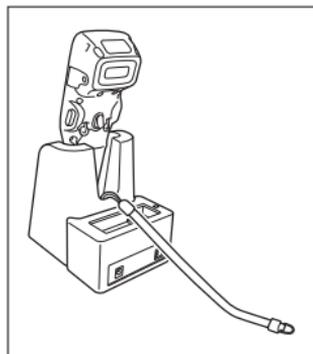


- 4 DT-X400底面の端子とUSBクレードルの給電／データ通信端子を合わせるようにしてから(1)USBクレードルの固定用フックにDT-X400の固定部(くぼみ)を合わせて突き当たるまで押し込んで(2)装着します。



DT-X400をUSBクレードルにセットするときは、スタイラス紛失防止ひもやハンドストラップをUSBクレードルの背面側に引き出して、中に入り込まないようにセットしてください。

DT-X400をUSBクレードルからはずすときは、DT-X400を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)をはずしてから引き抜いてください。



使用上のご注意

- ・ 満充電状態の電池が装着されていてもUSBクレードルにセットすると充電が開始されます。満充電表示になるまで数分掛かる場合があります。
- ・ 高低温の環境下では、充電電池バック保護のための充電制御が行われます。この温度範囲では、充電状態LEDが緑色点灯し充電完了となっても電池残量が100%にならないことがあります。
- ・ 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- ・ ACアダプタをコンセントやクレードルから抜くときは、コードを引っ張らずにプラグやコネクタ部分を持って抜いてください。
- ・ 必ず指定のACアダプタをご使用ください。

USBクレードル(HA-S60IO)の仕様

1. USB仕様

規格	: USB 2.0 High Speed
伝送速度	: 480Mbps (MAX)

2. 充電仕様

充電方式	: 定電流電圧方式
充電時間	: 約4時間

3. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S50400A
入力	: AC100-240V 50/60Hz 0.7A
出力	: DC5V 4A

4. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約102(幅)×140(奥行)×131(高さ)mm
質量	: 約370g

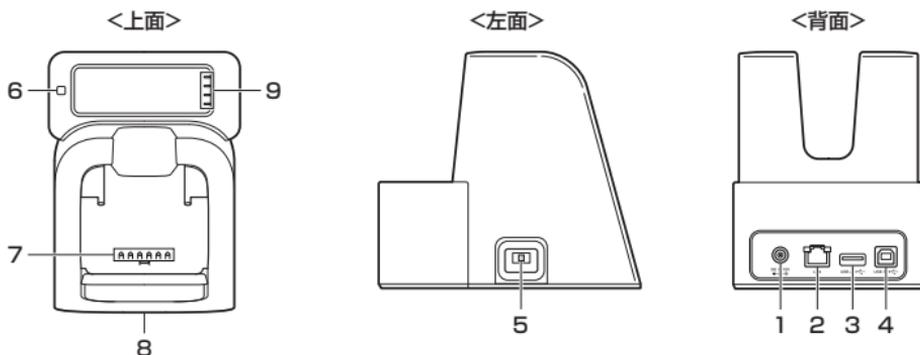
5. 動作環境

動作温度	: 0～40℃
動作湿度	: 10～90%RH(結露なきこと)

LAN クレードル (HA-S6210)

LANクレードルは、DT-X400とパソコンなどの間でLANインターフェースを使いデータ転送ができます。また、DT-X400への電源供給や充電電池パックの充電をすることができます。

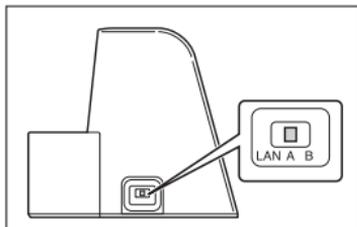
各部の名称とはたらき



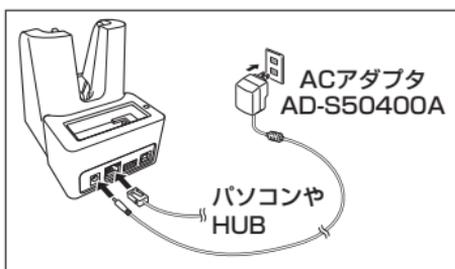
1	ACアダプタジャック	ACアダプタを接続して電源を供給します。
2	LAN用ポート	LANケーブルを使ってパソコンやHUBへ接続し、データ転送を行います。
3	USBホスト用ポート	USB機器との通信に使用します。
4	USBクライアント用ポート	パソコンとの通信に使用します。
5	切り替えスイッチ	USBホスト、USBクライアント、およびLANの切り替えを行うスイッチです。
6	充電電池パック 充電状態LED	充電状態を表示します。 赤色点灯：充電中 緑色点灯：充電完了 赤・緑色交互に点滅：充電電池パックの異常または充電可能温度範囲外
7	給電／データ通信端子	DT-X400へ電源を供給およびデータ通信を行う端子です。
8	電源表示用LED	電源の状態、DT-X400の装着状態を表示します。 赤色点灯：電源オン、DT-X400は装着されていません。 緑色点灯：DT-X400が正常に装着されています。
9	充電電池パック給電端子	充電電池パックを充電する端子です。

電源の取り付けかたと接続

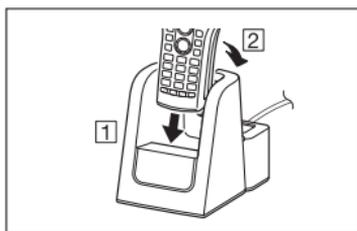
LANクレードルの電源は、別売りのACアダプタ(AD-S50400A)を使用してください。LANクレードルの側面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。LAN用ポートを使用する場合はLAN側に、USBクライアントを使用する場合はB側に、USBホストを使用する場合はA側にセットしてください。



- 1 LANクレードルの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。
- 2 ACアダプタをコンセントに接続します。
- 3 LANを使用するときは、LAN用ポートにLANケーブルを接続し、パソコンやHUBへ接続します。

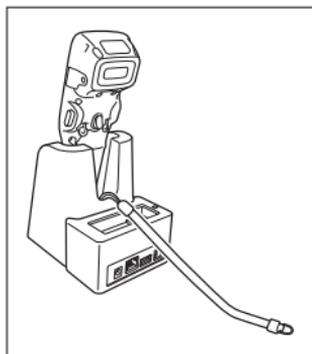


- 4 DT-X400底面の端子とLANクレードルの給電/データ通信端子を合わせるようにしてから(①)LANクレードルの固定用フックにDT-X400の固定部(くぼみ)を合わせて突き当たるまで押し込んで(②)装着します。



DT-X400をLANクレードルにセットするときは、スタイラス紛失防止ひもやハンドストラップをLANクレードルの背面側に引き出して、中に入り込まないようにセットしてください。

DT-X400をLANクレードルからはずすときは、DT-X400を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)をはずしてから引き抜いてください。



使用上のご注意

- ・ 満充電状態の電池が装着されていてもLANクレードルにセットすると充電が開始されます。満充電表示になるまで数分掛かる場合があります。
- ・ 高低温の環境下では、充電電池バック保護のための充電制御が行われます。この温度範囲では、充電状態LEDが緑色点灯し充電完了となっても電池残量が100%にならないことがあります。
- ・ 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- ・ ACアダプタをコンセントやクレードルから抜くときは、コードを引っ張らずにプラグやコネクタ部分を持って抜いてください。
- ・ 必ず指定のACアダプタをご使用ください。

LANクレードル(HA-S62IO)の仕様

1. LAN仕様

通信方式 : IEEE 802.3準拠
メディアタイプ : 10base-T/100base-TX自動切換

2. 充電仕様

充電方式 : 定電流電圧方式
充電時間 : 約4時間

3. ACアダプタ仕様

規格名 : AD-S50400A
入力 : AC100-240V 50/60Hz 0.7A
出力 : DC5V 4A

4. 外形寸法・質量

外形寸法 : 約102(幅)×140(奥行)×131(高さ)mm
質量 : 約380g

5. 動作環境

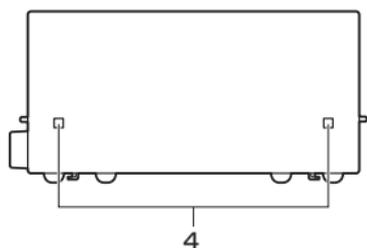
動作温度 : 0～40℃
動作湿度 : 10～90%RH(結露なきこと)

集合充電器 (HA-S36DCHG)

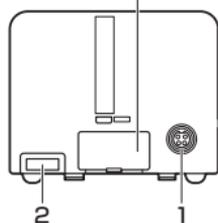
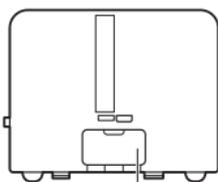
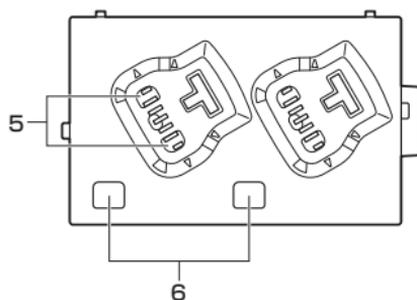
別売の集合充電器(HA-S36DCHG)は、充電電池パックをDT-X400Iに装着した状態で2台同時に充電することができます。

各部の名称とはたらき

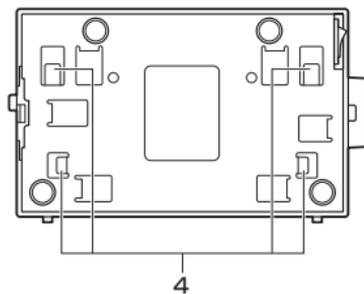
<側面>



<上面>



<裏面>



付属品

集合充電器を2台以上接続する場合に使用します。

- ・ 接続用アタッチメント(裏面用)
- ・ 接続用アタッチメント(側面用)



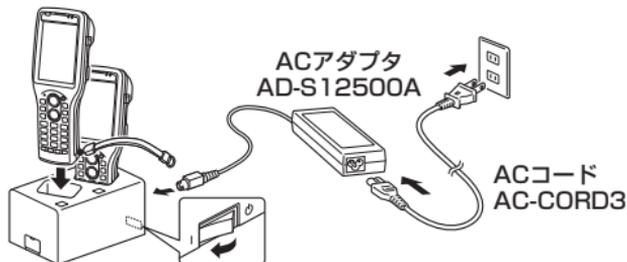
- ・ 接続用ネジ(裏面用、側面用) 各2本



1	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
2	電源スイッチ	電源をON/OFFします。
3	集合充電器接続用コネクタ	集合充電器どうしの接続に使います。
4	接続用アタッチメント取り付け部	集合充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。
5	給電端子	DT-X400へ電源を供給する端子です。
6	電源表示用LED	電源の状態、DT-X400の装着状態を表示します。 消灯：電源OFF。 緑色点灯：電源ON、DT-X400が正常に装着されています。 赤色点灯：電源ON、DT-X400は装着されていません。

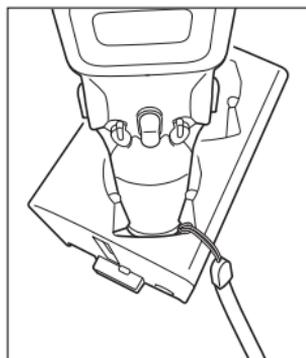
充電のしかた

集合充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S12500A)を使用してください。



- 1 集合充電器のACアダプタジャックにACアダプタのコネクタを彫刻面を上にしてカチッと音がするまで確実に差し込みます。
- 2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。
- 3 側面にある電源スイッチをオンにします。
上面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。
- 4 DT-X400の底部にある端子と集合充電器の端子を合わせるようにしてセットします。
上面の電源表示用LEDが緑色に点灯し、充電状態LEDがオレンジ色に点灯します。

DT-X400を集合充電器にセットするときは、スタイラス紛失防止ひもやハンドストラップを集合充電器の背面側に引き出して、中に入り込まないようにセットしてください。



DT-X400の充電状態LEDの表示

オレンジ色点灯：充電中

緑色点灯：充電完了

赤色点灯：充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中
(充電可能温度になると充電開始)

オレンジ色点滅：充電中(充電電池パックの残量が低下して本体を起動できないため、充電状態LEDがオレンジ色点灯になるまでお待ちください)

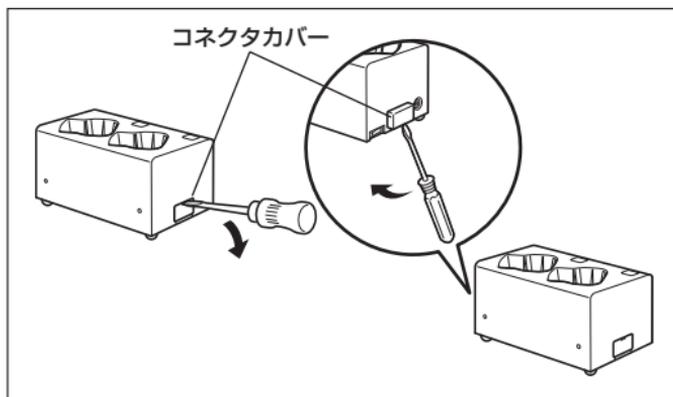
使用上のご注意

- ・ 満充電状態の電池が装着されていても集合充電器にセットすると充電が開始されます。満充電表示になるまで数分掛かる場合があります。
- ・ 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。給電端子を清掃するときは、安全のためACアダプタを抜いてから、乾いた布や綿棒などで拭いてください。
- ・ 充電中はACアダプタを抜かないでください。
- ・ ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグ部分を持って抜いてください。
- ・ DT-X400を集合充電器にセットするときは、スタイラス紛失防止ひも、ハンドストラップが中に入り込まないようにセットしてください。
- ・ 集合充電器は、平らな場所に設置し、DT-X400の着脱は、静かに確実に行ってください。
- ・ 必ず指定のACアダプタをご使用ください。

2台以上の接続

集合充電器を3台まで接続して、1つのACアダプタで充電することができます。

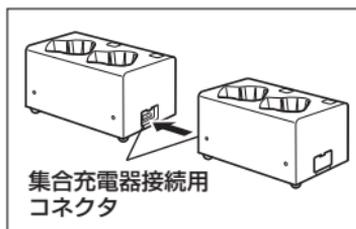
- 1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。



使用上のご注意

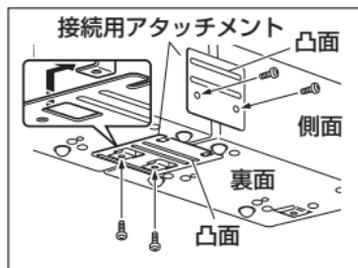
- ・ コネクタカバーはマイナスドライバー等で取り外してください。指等で外そうとすると、けがをするおそれがあります。

- 2 集合充電器接続用コネクタを接続させます。



- 3** 裏面と側面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。
同様にして最大3台まで接続することができます。

※接続用アタッチメントは、表面が表になるように取り付けます。(溝が凸面になっている方が表面です。)



使用上のご注意

- ・ 接続用アタッチメントは集合充電器1台につき、裏面用と側面用各1枚付いています。複数の集合充電器を接続すると、接続用アタッチメントがそれぞれ1枚ずつ余ります。余分の接続用アタッチメントは予備として保管してください。
- ・ 集合充電器を2台以上接続するときは、必ずACアダプタを抜いてから接続してください。

集合充電器(HA-S36DCHG)の仕様

1. 充電仕様

充電方式	: 定電流電圧方式
充電時間	: 4時間

2. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S12500A
入力	: AC100-240V 50/60Hz 1.5A
出力	: DC12V 5A

3. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約172(幅)×100(奥行)×83(高さ)mm
質量	: 約480g

4. 動作環境

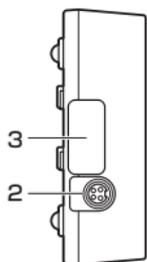
動作温度	: 0～40℃
動作湿度	: 10～90%RH(結露なきこと)

デュアル充電器 (HA-S32DCHG)

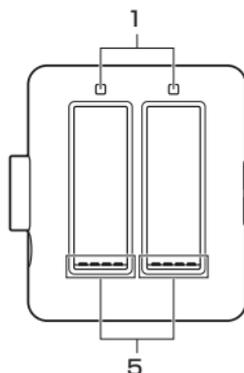
別売のデュアル充電器(HA-S32DCHG)は、充電電池パック2個を同時に充電することができます。

各部の名称とはたらき

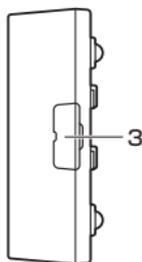
<左側面>



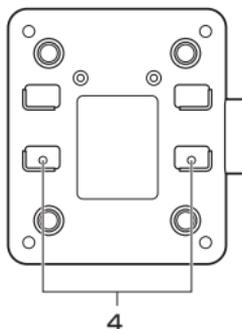
<上面>



<右側面>



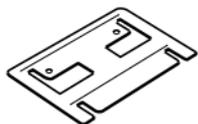
<裏面>



付属品

デュアル充電器を2台以上接続する場合に使用します。

- ・ 接続用アタッチメント
- ・ 接続用ネジ(2本)



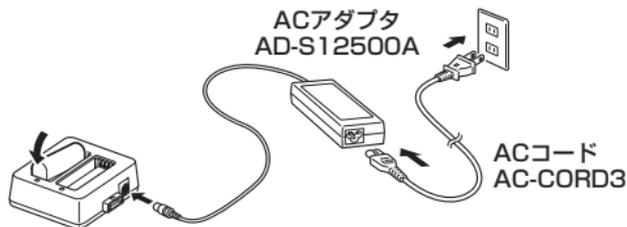
1	充電状態LED	充電電池パックの充電状態を表します。 消灯：充電しないとき 赤色点灯：充電中 緑色点灯：充電完了 赤・緑色交互に点滅：充電電池パックの異常、充電電池パックが正しくセットされていない、充電可能温度でないため待機中 (充電可能温度になると充電開始)
2	ACアダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
3	デュアル充電器接続用端子	デュアル充電器どうしの接続に使います。
4	接続用アタッチメント取り付け部	デュアル充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。
5	給電端子	充電電池パックとの接続端子です。

使用上のご注意

- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- 充電中に充電電池が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 充電中は充電器の上にカバーをするなど物を乗せないでください。
- 充電中は充電電池を外したりACアダプタを抜いたりしないでください。
- 充電電池の着脱を何回も繰り返すと、充電電池の劣化の原因となります。
- 接続用アタッチメントはデュアル充電器一台につき付属しています。複数のデュアル充電器を接続すると、接続用アタッチメントが一つ余ります。余った接続用アタッチメントは予備としてお使いください。
- 必ず指定のACアダプタをご使用ください。

充電のしかた

デュアル充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S12500A)を使用してください。



- 1 デュアル充電器のACアダプタジャックにACアダプタのコネクタを差し込みます。
- 2 別売の専用ACアダプタのプラグをコンセントに接続します。
- 3 充電電池パックの端子の方向に注意してデュアル充電器に取り付けます。充電状態LEDが、赤色に点灯して充電が開始されます。

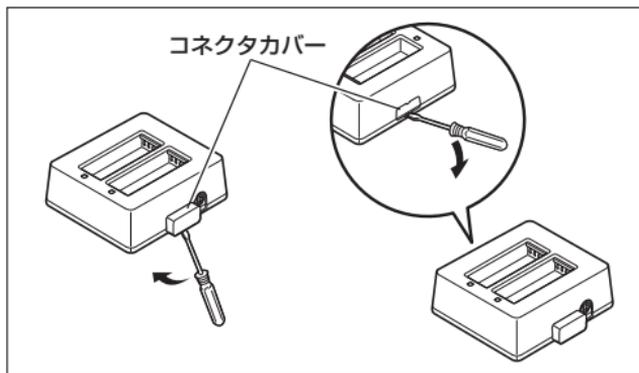
充電状態LEDの表示

消灯：	充電しないとき
赤色点灯：	充電中
緑色点灯：	充電完了
赤・緑色交互に点滅：	充電電池パックの異常、充電電池パックが正しくセットされていない、充電可能温度でないため待機中 (充電可能温度になると充電開始)

2台以上の接続

デュアル充電器を3台まで接続して、1つのACアダプタで使うことができます。

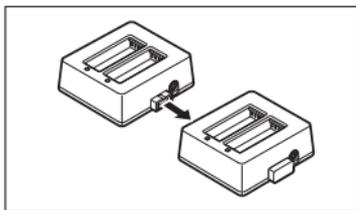
- 1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。



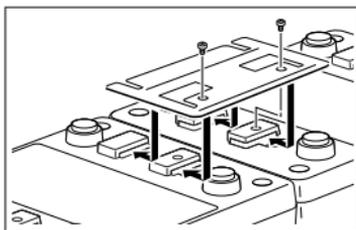
使用上のご注意

- ・コネクタカバーはマイナスドライバー等で取り外してください。指等で外そうとすると、けがをするおそれがあります。

- 2 デュアル充電器接続用コネクタを接続させます。



- 3 裏面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。同様に最大3台まで接続することができます。



デュアル充電器(HA-S32DCHG)の仕様

1. 充電仕様

充電方式	: 定電流電圧方式
充電時間	: 4時間

2. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S12500A
入力	: AC100-240V 50/60Hz 1.5A
出力	: DC12V 5A

3. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約104(幅)×113(奥行)×42(高さ)mm
質量	: 約165g

4. 動作環境

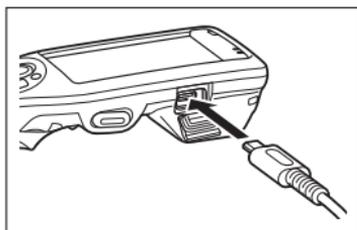
動作温度	: 0～40℃
動作湿度	: 20～90%RH(結露なきこと)

USB Type-C ケーブル (HA-S81USBC)

USB Type-Cケーブルは、DT-X400とパソコンを接続することができます。また、DT-X400へ電源供給をすることができます。

パソコンとの接続

- 1 USB Type-CケーブルをDT-X400のUSB Type-Cポートに接続します。

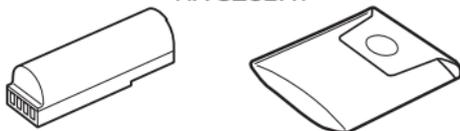


使用上のご注意

- 本体やUSBケーブルの給電／データ通信端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタおよびUSBケーブルを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- 本体やUSBケーブルの給電／データ通信端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。

充電電池パック(HA-S20BAT)

HA-S20BAT



使用上のご注意

- 充電電池パックを本体から外して保管するときは、必ず専用のソフトケースに入れてください。
- 充電電池パックを長期間使用されない場合、自然放電や充電電池パックの自己消費により使用できる容量が低下します。この充電電池パックを満充電にしても使用時間等の性能が満足できない場合は、寿命と思われまますので、新しいものと交換してください。
- 充電電池パックをお買い求めいただく際には、カシオ純正の充電電池パックをご購入ください。

充電電池パック(HA-S20BAT)の仕様

型式：	HA-S20BAT
公称容量：	2900mAh/10.73Wh
公称電圧：	3.7V
外形寸法：	約73(幅)×22(奥行)×23(高さ)mm
質量：	約61g
付属品：	ソフトケース

修理に関する窓口

修理の相談窓口

- 修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

情報機器コールセンター



0120-002906

携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日
AM9:00～PM5:30
(日・祝日、弊社指定休業日は除く)

修理品受付窓口

- 修理依頼後の返却予定日、修理料金、故障内容などの問い合わせにつきましては下記窓口にお問い合わせください。

カシオPAリペアセンター



0120-655336

携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間：月曜日～金曜日
AM9:00～PM5:30
(土・日・祝日、弊社指定休業日は除く)
住 所：〒208-0023
東京都武蔵村山市伊奈平
3-28-2

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

PNPN430148-006

MO2211-F

©2018 CASIO COMPUTER CO., LTD.